

NISSHA 株式会社
「第 8 次中期経営計画説明会」
質疑応答の要旨
(2024 年 2 月 28 日開催)

Q1. PBR1 倍割れの解消に最も必要と考えていることは何か。

A1. 営業利益率の向上。

Q2. メディカルテクノロジー事業の営業利益率をどのように向上させるか。

A2. 医療機器 CDMO の成長が営業利益率の向上を牽引する。売上高成長に加え、生産効率の改善と、優れた操作性や精密性などによる製品の高付加価値化で利益率を高める。また、買収した企業の利益率は高く、メディカルテクノロジー事業の利益率向上に貢献する。

Q3. メディカルテクノロジー事業で、医療機器自社ブランドとビジネスメディアの今後の方針は。

A3. 医療機器自社ブランドはリソースをかけず、効率的な運営を目指す。ビジネスメディアは医療機器 CDMO に次いで利益率が高く、キャッシュカウとして事業を継続する。

Q4. デバイス事業の営業利益率はどのように改善させるか。

A4. タブレット向けを中心に、生産体制を含めリーンオペレーションを追求する。

Q5. デバイス事業のタブレット向け以外の売上高は何が伸びるのか。

A5. モビリティ向けタッチセンサーは中国向けの拡大を想定している。また、ガスセンサーは空調機向けの冷媒漏れ検知センサーなどの用途拡大を見込んでいる。